

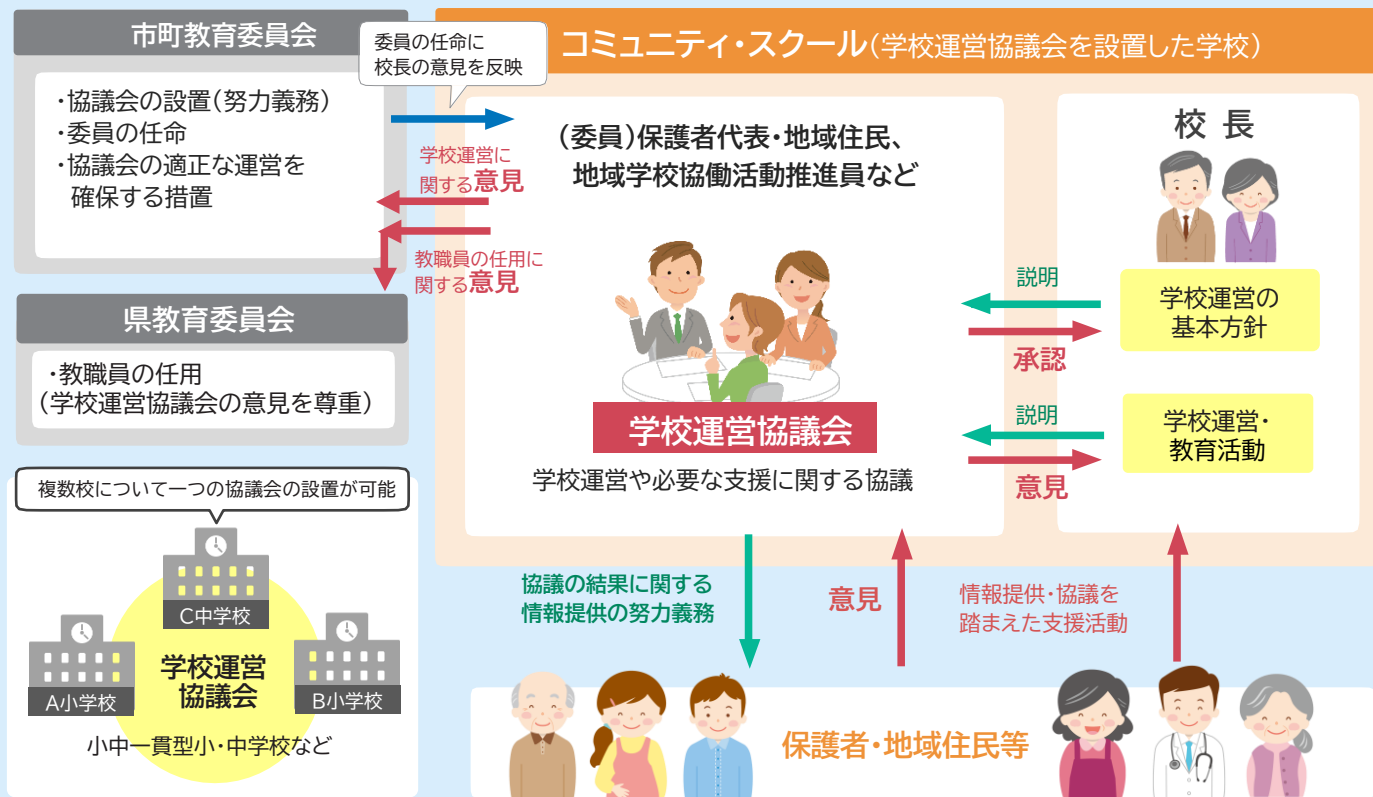
滋賀の

コミュニティ・スクール

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠です。

滋賀県では、コミュニティ・スクールの趣旨や目的、必要性等を十分に理解いただき、学校と地域住民が力を合わせて学校運営を支える、「地域とともにある学校」の実現を推進しています。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



学校運営協議会の主な3つの機能

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する【必須】
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる【任意】
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べる【任意】

地教行法第47条の5

Q

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは？

A

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは、学校運営協議会での協議内容に基づいた活動が行われるよう、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）が「つなぎ役」となって、学校運営協議会と地域学校協働活動の両取組を相乗的に推進していくことです。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



コミュニティ・スクールに取り組んでいる方々から寄せられた声

先生方は、子どもの幸せを願う強い思いをお持ちですが、時間が全く足りないようだ。日常的教育活動も多岐に渡る。そんな中、地域の力を活かした働き方改革は今後の鍵となる。

小学校 地域学校協働活動推進員

子どもたちが主体的に創造していく仕組みにすることが大切である。地域の方とビジョンを共有し、少しでも生徒が企画・実践することを大事にしたい。

中学校 地域連携担当者

コミュニティ・スクールの取組が一部の生徒にとどまり、全校生徒の活動になっていないことが課題です。その課題解決に向けて引き続き知恵をしまりたい。

高等学校 管理職

なによりも先生が元気で、教育環境が整っていることが、子どもたちにとって大きな安心となる。ひとりでも多くの支援者が手を結び、ネットワークを築き、子どもたちと学校の安心のために活動したい。

特別支援学校 学校運営協議会委員

「どんな子どもを育てたいか」「子どもにどんな力をつけたいか」を意識して継続することで大きな動きになっていく。

小学校 管理職

CSアドバイザー



わたしたちがサポートします！

- ☑ CS導入
- ☑ 相談
- ☑ 取組の充実
- ☑ 研修会講師

ニーズに応じて訪問いたします！

CSアドバイザーのメッセージ動画を視聴できます！



滋賀県学習情報提供システム「におねっと」

問合せ先

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課
〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077-528-4654 FAX 077-528-4962
MAIL ma06@pref.shiga.lg.jp



【参考・引用】
文部科学省『「学校運営協議会」設置の手引き』

令和6年（2024年）9月発行

マネジメント

校長のリーダーシップのもと、めざすべきビジョンの達成に向かって、教職員全体がチームとして力を発揮し、地域の力を生かした学校運営を！

目標やビジョンを共有します

01 知る(情報共有)

子どもには、地域には・・・
どんないいところがある？
どんな課題がある？

知る
(情報共有)

01

OKからLet'sへ

学校と地域が「対等な立場」で協議をします

02 考える(熟議)

こんな子どもに育て
ほしい！こんな学校を
創りたい！
そのために何を
する？何が
できる？

考える
(熟議)

02

心を合わせて
子どもを育む
コミュニティ・
スクール

04

振り返る
(評価)

04 振り返る(評価)

持続可能な取組にする
ために、協働する楽しさ、
喜び、手応えを分かち合おう！

実現させる
(協働)

03

03 実現させる(協働)

学校、地域、保護者、子どもの
役割分担をし、共有した目標に
向かって、共に汗を流そう！
学校を核とした地域ネット
ワークでつながろう！

コミュニティ・スクールの魅力

子どもにとって

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員にとって

- 地域の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

保護者にとって

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとって

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校の教育活動をきっかけにつながりが生まれ、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

学校運営協議会での“熟議”が様々な活動に活かされています

東近江市立五個荘小学校



「おさがりおゆずり会・子育てカフェ」

学習参観後の時間を使い、おさがりおゆずり会を開催しました。保護者から提供していただいた体操服や赤白帽子、国語辞典などを必要な方が持ち帰られました。
また、子育てカフェも同時に開催し、保護者同士が会話を楽しまれる姿が見られました。

保護者の声

卒業までわずかだったため、体操服の購入を迷っていましたが、ちょうど良いサイズの服が見つかり大変ありがたかったです。今度は提供もしたいと思います。

彦根市立西中学校



「クリスマス&ニューイヤーカード大作戦」

ボランティアで集まった生徒と各地域の民生委員児童委員がチームとなり、地域の一人暮らしの高齢者の方々のお家と介護施設に手作りのカードを届ける「大作戦」を行いました。訪問時間は短いですが、心がホッと安らぐあたかいひとときとなり、たくさんの笑顔の花が咲きました。

地域の声

生徒さんからカードをプレゼントされて、感謝の気持ちでいっぱいです。今では孫も大きくなり、孫からのプレゼントもあまりない中で、もらった喜びはひとしおです。

県立学校地域協働モデル事業(R6年度～R8年度)

「子どもに寄り添う」地域と学校の「連携・協働」体制を、県立学校へ広げていきます！

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、県立学校に地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)を配置しています。

愛知高等学校・愛知高等養護学校 学校運営協議会設置5年目

地域のお祭りのために、地域コーディネーターと生徒が直接関わって準備を進めている。



←グループに分かれてブース出展を企画。お客さんの立場をイメージして内容や必要な機材を確認しているところ。子どもたちの考えや意見をもとに準備が進んでいます。

地域コーディネーター

綿谷 駒太郎 さん

愛荘町で“地域おこし協力隊”としても活動されており、経験を生かしていただいています。



東大津高等学校 学校運営協議会設置1年目

第1回協議会で学校が目指すビジョンや課題を共有。地域コーディネーターの参画に期待を寄せている。



←第2回協議会に向けて、地域コーディネーターと打合せ中。協議内容をもとに実現させたいことを整理し、生徒の安全・安心な学校生活や学びの充実につなげます。

地域コーディネーター

小寺 慎吾 さん

地域とのつながりに強みのある地元企業から社会貢献活動の一環で参画いただいています。

